



豊後大野市小中一貫教育校緒方学園緒方中学校 学校だより

青雲の大志

令和7年2月20日

NO.74 文責 校長 内海真理子

【学校教育目標】 自他を尊重し、論理的な思考力と豊かな表現力で、粘り強く課題解決を図る生徒の育成

能楽体験教室

2月5日（水）に7・8年生を対象とした能楽体験教室を開きました。講師は、本校の足立友子先生のお師匠さんでもあり東京で喜多流能楽師として活躍されている狩野祐一さんと三重町にお住いの仕舞の先生、志賀祐子さんです。前半は、能の歴史についてお話を伺った後、基本の足拍子や「高砂」のお謡などの体験をしました。後半は、緒方三郎惟栄の伝説と同じ部分がある「三輪」を狩野先生が演じてくださいました。



能を実際に歌ったり舞ったりしてみても、体や声などを使って表現しているんだなあと思いました。構え方や動き方を知ることができました。面は約200種類ほどあり、向きを変えることによって表情が変わることを知りました。能の歴史は古く、現代まで受け継がれて、すごいと思いました。

私は能をあまり見たことがなかったけれど、今日の能楽教室で、能の魅力を感じることができました。他にもいろいろな舞を見てみたいと思いました。能楽教室は2回目だったけど、初めて知ることがたくさんありました。日本の伝統を大切にしていきたいと思いました。（8年 河野愛佳さん）

能が室町時代から始まったことは知っていたけど、オペラよりも古く、世界最古の芸能だと知って驚きました。実際に面をつけてみたときは、思っていたよりも視野が狭く、動くのがとても怖かったです。面をつけながら舞う人たちは、とてもすごいなと思いました。

能の体験では、舞は足踏みをする際に体が横に動いたりして、とても難しかったです。謡は音程がとても難しく、これを暗記して謡う人たちはすごいなと思いました。世界最古の芸能を残していくために、今回しっかり学ぶことができたので良かったです。いつか他の舞も見てみたいと思いました。

（8年 田上和篤さん）

FUNFUNスポーツ



2月13日（木）に消防士の神田拓滝さんをゲストティーチャーとしてお迎えし、体力づくりトレーニングを行いました。きつくても笑顔があふれる時間となりました。神田さんからは、トレーニングのやり方のほかに、次のような熱いメッセージもいただきました。心に響きました。

- ・受験生に向けて…不安がたくさんあっても、今できることを精一杯する、今を大切にしてほしい。
- ・みんなには、周りの人を大事にしてもらいたい。自分は急逝した父親に「ありがとう」を言えないままだった。今、一緒に暮らす母親には毎日「おやすみ」と「ありがとう」を伝えるようにしている。

